

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|---------------|------------|-------------|
| 事業所番号 | 2090100385 | | |
| 法人名 | 有限会社ユーネットワーク | | |
| 事業所名 | グループホームみわ | | |
| 所在地 | 長野県長野市2-2-38 | | |
| 自己評価作成日 | 令和 5年 11月 15日 | 評価結果市町村受理日 | 令和 6年 1月 9日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action=kouhou_detail_022_kami=true&livevoCd=2090100385-00&ServiceCd=320&Type=search |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|---------------|--|--|
| 評価機関名 | コスモプランニング有限会社 | | |
| 所在地 | 長野市松岡1丁目35番5号 | | |
| 訪問調査日 | 令和 5年 11月 29日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者一人ひとりの尊厳を重んじ、常に個別ケアを意識しています。日々の生活の中でいかにその人らしさを尊重した支援ができるのか、どのようにしたら利用者の持っている力を発揮でき生き生きと暮らすことができるのか、その人が笑顔で楽しく過ごせるにはどのようにしたらいいのかを、共に生活しケアを行う中から学びとることを全職員が意識し、個々へのケアの質をさらに向上して行けるよう努力をしています。また、家族と利用者の「掛け橋」となるように繋がりを密にし、地域との連携をとりながら、多くの関係者との関わりの中で支援できるようにしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

長野市三輪地区、周りを数々の商業施設や閑静な住宅街に囲まれた所に開設から13年目を迎えた当ホームがある。「利用者本位・本意」という基本理念の下、利用者一人ひとりの想いを受け止め、持っている力を引き出し、できることは積極的にやっていたり、笑顔で楽しい日々が送れるホームを目指し取り組んでいる。新型コロナが長引き、制約を受けながらの活動が続いてきたが、そうした中でも当ホームは感染対策を取りながら利用者の希望は否定すること無く、できるだけコロナ前のような生活が送れるように全職員気持ちを一つにして支援を続けてきた。家族の面会についても面会制限をすることで利用者の気持ちが落ち込み認知症の症状が進んでしまう心配があることから、コロナ蔓延中も感染対策を取った上で居室やベランダでの対面での面会を続けて家族からも感謝されている。また、コロナ前から続けている買い物外出も継続され、職員と共に食材の買い出しや利用者の欲しい物の買い物に出掛け、外の雰囲気を感じている。更に、家族と日帰り温泉、食事、ドライブ、美容院等に出掛けたり、時折、自宅の様子を見に戻られる方もおり、利用者の自主性を大切にし意向に沿った支援に繋がっている。加えて、今年度はホームとして春にはお団子、お茶、ジュースを持ち、市内北部の昭和の森公園までドライブを兼ねて花見に出掛け、秋には須坂市の臥竜公園に菊花展見学に出掛け季節を味わっている。昼食前のホール兼食堂にはエプロンを掛けてキッチンに立ちテキパキと食事作りのお手伝いをしている利用者を始め、ゆったりとソファに腰掛け寛いでいる利用者等を垣間見ることができ、自宅にいるような雰囲気が漂っている。共同生活の場として利用者、職員の一体感が強く感じられた。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | 項目 | 取り組みの成果 ↓該当する項目に○印 |
|---|--|--|--|
| 56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない | 63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | ○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない |
| 59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12) | ○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | |